

ジェイアールバス東北本部

第21号 2020年3月13日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申 6号 「2020年度賃金引上げ等 に関する申し入れ」 について趣旨説明をおこなう！

【組合】

- ・ 2019年度上期決算は高速乗合の減収により、営業収益は計画を大幅に下回り、大変厳しい結果となっているが、下期は、台風19号の影響による運休等もあったものの、八戸線の列車代行やジェイアールバス関東の路線肩代わり運行で、収入確保のために助勤や休日出勤等で社員が一丸となって協力してきた。
- ・ 会社の発展のためには、人材の確保・定着と技術継承・人材育成が不可欠であり「労働力の価値」に対して投資するべきである。
- ・ 新型コロナウイルスが発生し終息の見込みが立たない状況で、感染への恐怖、感染した場合の病欠や年休、無給での対応となることへの不安のなか、業務に就いている。
- ・ 物価上昇、消費税増税等があり生活維持向上のための賃上げが必要である。
- ・ 契約社員の北東北と南東北で賃金格差がまだ続いているが、モチベーションを上げるためにも格差解消が必要である。
- ・ 慢性的な要員不足に悩まされている現状で、人材流出を防ぐためにも契約社員の希望者全員をバス社員に登用するべきである。

【会社】

- ・ 趣旨は承った。今後、議論していく。
- ・ 上期決算は厳しい状況であったが、それ以降、JRバス西日本への出向など様々な事をしてきて3月には黒字になる予定であった。
- ・ 第3四半期決算、2月までは何とか黒字であったが、新型コロナウイルスの影響により、3月単月で仙台～新宿便が7割から8割減となるなど、非常に厳しい状況である。
- ・ 例年であれば、この時期は続行便を出すなど稼ぎ時であるが、イベント等の自粛要請が長引くことで、なおさら乗車しなくなる。
- ・ この新型コロナウイルスがいつまで続くか分からない状況であり、先が読めない。
- ・ 定期昇給をどうするか考えていかなければならないほど厳しい。この状況を理解して頂きたい。

**職場の苦労に報いるために全組合員一丸となって
満額回答を勝ち取ろう！！**